

11 指定文化財一覧

	種別	名称	所在地	指定区分	員数	所有者	指定年月日	指定文化財の内容
有形文化財	考古資料	史跡黄金山産金遺跡出土古瓦	涌谷字黄金迫、字大崩	県指定	8点	涌谷町個人	昭和51年3月29日	天平21年(749)の天平産金に関連して建立された仏堂を示すもので、陸奥国分寺・尼寺の建立や多賀城の変遷にも深く関連した貴重な資料。「天平」銘瓦製宝珠1点重弁蓮花文軒丸瓦3点、偏行唐草文平瓦3点、「天平」銘入丸瓦1点
	工芸品	篁峯寺梵鐘(寛文の鐘)	篁岳字神楽岡	町指定工芸品2号	1	宗教法人 篁峯寺	平成30年7月2日	涌谷伊達家が納めた篁峯寺梵鐘で「寛文の鐘」と呼ばれ広く親しまれてきた。その銘文は涌谷伊達家と篁峯寺、円同寺(現見龍寺)との関係を如実に示しており、江戸時代前期における地域領主と信仰について知る上で欠かすことのできない貴重な文化財である。
	歴史資料	涌谷伊達家墓石群	涌谷字龍淵寺	町指定歴史資料1号	18	個人	平成24年2月8日	涌谷伊達家墓所にある涌谷伊達家六代夫人法身院(享保九年・一七二四没)から十六代・胤正夫妻(夫人は昭和十五年・一九四〇没)までの歴代邑主および夫人の十八基の墓石群である。墓石十八基と霊屋五棟に附する灯籠、香炉、花立等の石造物群を附とする
	歴史資料	涌谷伊達家子女墓所(お子様廟)	涌谷字龍淵寺	町指定歴史資料2号	28	個人	平成30年7月2日	涌谷伊達家の子女および縁者の墓石28基。これらの墓石群は、近世から近代にかけて、涌谷伊達家の歴代邑主および夫人の墓所とは明確に区別され、夭折した子女の墓域、それ以外の縁者の墓域に形成されたものである。その墓石群の変遷は、近世領主層の墓制および一門・涌谷伊達家を理解する上で欠かすことのできない貴重な歴史資料である。灯籠、香炉、花立等の石造物群を附とする
	建造物	見龍院霊屋	涌谷字龍淵寺	県指定建15号	1棟	個人(涌谷町管理)	昭和43年12月13日	涌谷伊達家4代伊達安芸宗重公の霊屋である。寛文13(1673)年の創建で総けやきの素木づくりで向拝がつき、宝船造りの屋根、床は石敷。内部に宗重公の木座像を安置する。
	建造物	妙見宮拝殿	涌谷字日向町	県指定有建32号	1棟	神明社	昭和63年4月30日	涌谷伊達家の氏神を祀る。現在の拝殿は、元禄10(1697)年の創建になるもので、旧本殿である。元禄期の建築として、貴重な意匠が残されている。附厨子1基 棟札2枚矢羽2枚
	建造物	篁峯寺観音堂	涌谷町篁岳字神楽岡	県指定有建44号	1棟	宗教法人 篁峯寺	平成31年2月15日	江戸時代(嘉永4年)に建てられた仏堂としては県下最大規模であり、天台密教一山寺院の中心建造物として雄大な姿を保ち続けている。また、内陣では、近年まで衆徒修行の場として参籠を実施していたといい、本格的密教堂としても往時の形態をよく遺している。装飾は、一部に独創的な意匠も垣間見られるが、総じて江戸後期から末期の特徴を有している。建築年代並びに改修年もほぼ明らかで、学術的並びに歴史的価値は高い。
	建造物	見龍廟(涌谷伊達家墓所内霊屋)	涌谷字龍淵寺	町指定建造物1号	4棟	個人(涌谷町管理)	昭和46年5月13日	見龍院霊屋に並んで、霊屋4棟と涌谷伊達氏代々の墓石18基及び石塔があり、涌谷伊達家墓所を構成する。江戸時代中期以降の墓制として墓所が一群にまとまっているのは、近世霊屋の遺構を知る上で貴重である。
	建造物	妙見宮(長床・本殿)	涌谷字日向町	町指定建造物3号	2棟	神明社	昭和47年5月8日	本殿は、享保2年(1717)の建築。涌谷伊達氏の氏神で、祭神は北斗星である。
	建造物	千石家薬医門	涌谷字下町	町指定建造物2号	1棟	涌谷町	昭和61年12月22日	涌谷伊達家の宿老千石家の門である。江戸時代中期頃の門で、屋根は切妻カヤ葺で軒が低く安定感がある。素朴ではあるが、武家門として涌谷伊達氏の上級家中の門の形式を伝えるものである。
	建造物	西光寺薬医門	小里字不動	町指定建造物6号	1棟	西光寺	平成5年1月18日	現在、西光寺の山門である。江戸時代中期のもので、屋根は箱棟、切妻破風造、カヤ葺で規模が大きく、材料も立派である。どっしりと落ち着いたもので堂々たる感じがする。
	建造物	佐々木家住宅(広間、主屋、板倉2棟、棟門、厩舎)	涌谷町涌谷字黄金迫	町指定建造物7号	6棟	涌谷町	平成12年6月28日	佐々木家は涌谷伊達家家中で騎馬御免の家柄、3貫961文の知行をもつ上級家中であり、屋敷地とともに古くからの家構を総体的に見ることができる。広間:200年を下らない建築 主屋:文政9(1826)年建築 板倉(33.05m):天保2(1831)年建築
	建造物	涌谷館跡隅櫓(太鼓堂)	涌谷町涌谷字下町	町指定建造物8号	1棟	涌谷町	平成12年6月28日	江戸時代、涌谷伊達氏の在所であった涌谷要害内に位置し、現在は隅櫓と石垣の一部のみが残存する。天保8年(1837)の再建と伝えられ嘉永7年(1854)の絵図面には太鼓堂の様子が描かれており、この頃以前の建築と思われる。
	建造物	黄金山神社(拝殿)	涌谷字黄金宮前	町指定建造物9号	拝殿1棟	黄金山神社	平成17年3月3日	本拝殿は黄金宮について検証をおこなった沖安海の献金をもとに天保6年(1835)着工、天保8年(1837)竣工したもので、国史跡黄金山産金遺跡の中心的文化財として天平産金の歴史と由来を伝えている。明治5年5月県社に列している。
	建造物	土井家坊舎(仁王堂)	涌谷町篁岳字神楽岡	町指定建造物10号	坊舎1棟	個人	平成17年3月3日	篁峯寺の坊舎は、その殆どが天保13年(1842)の野火で焼失している。本坊舎は、観音堂を再建した棟梁の手により再建されたと言われる。篁峯寺坊舎のなかで最も良好な保存状態を保ち、優れた建築意匠と間取りの配置から江戸末期の充実した住坊建築の典型として貴重である。
	建造物	篁峯寺白山堂・仁王門	涌谷町篁岳字神楽岡	町指定建造物11号	3棟	宗教法人 篁峯寺	平成30年7月2日	篁峯寺観音堂と共に、篁峯寺一山の中心施設として位置付けられてきた建造物であり、地域信仰の拠点としての在り方を同わせる貴重な文化財である。(平成31年2月15日観音堂県指定に伴い町指定解除)

	種別	名称	所在地	指定区分	員数	所有者	指定年月日	指定文化財の内容
民俗文化財	有形民俗文化財	獅子舞絵馬	涌谷町涌谷字日向町	町指定建造物1号	1点	神明社	平成12年6月28日	町内に現存する「古式獅子舞」について、当時の状況を極めて写實的に描写している最古の記録であり、「古式獅子舞」の由来、種別、芸態等を解明する上で極めて貴重な文化財である。板絵、彩色、長方形 150×118cm、絵師三枝徳三郎、文久二年(1862)九月九日奉納
	無形民俗文化財	寛峯寺正月行事	寛岳字神楽岡	県指定無民28号	1	宗教法人寛峯寺	昭和57年3月30日	修正会と白山神事からなる。特に白山神事は、東北地方に数少ない宮座組織の当屋制に近い形態の行事であり、正月二十五日の白山祭における御弓神事を中心にした民俗行事は、東北の庶民信仰を見るうえに極めて価値高いものがある
	無形民俗文化財	古式獅子舞	古式獅子舞保存会事務局	町指定2号	1	古式獅子舞保存会	平成12年6月28日	天文21年(1552)に、亙理元宗が、京都愛宕神社を分社として移した際に同時に伝えられたものと伝わる。記録では、文久2年(1862)の妙見宮奉納絵馬が残存。伎楽系の獅子舞と太神楽系の芸態が入り混じって形成されているとされ、県内に少ない太神楽として極めて貴重な無形民俗文化財である。
	種別	名称	所在地	指定区分	員数	所有者	指定年月日	指定文化財の内容
史跡・名勝・天然記念物	史跡	黄金山産金遺跡	涌谷字黄金山地内	国指定文委記43号	1	黄金山神社	昭和42年12月15日	本邦金の始出地である「陸奥国小田郡のみのく山」の中枢に位置した、産金に因んだ仏堂跡である。産出金は奈良東大寺大仏を完成へと導く塗金料として貢献された。関連して大伴家持も万葉集に歌を残しており、万葉史跡の北限にもあたる。
	史跡	長根貝塚	小里字長根地内	国指定庁保記9の2号	1	涌谷町ほか	昭和45年3月9日	淡水性の貝類を主体とする馬蹄形貝塚で、縄文時代早期から晩期までの長期間にわたる貝塚文化層が良好に残した本地域でも中枢をなすと考えられる縄文集落である。発掘により宮城県で最初の竪穴式住居跡2棟が発見されている。
	史跡	追戸横穴墓群	涌谷字追戸沢二地内	町指定3号	1	涌谷町	平成6年7月14日	追戸横穴墓群のうち、A、B、C地区を指定。古墳時代末期～奈良時代頃の墳墓と推定され、独特の棺座形態をもつものもある。追戸A地区1、2号墳は奥行き10m程の代表的な横穴墓で、特に2号墓では赤彩が施される。特徴的な出土品として関東系の土器、トンボ玉、勾玉、切子玉などがある。
	史跡	佐々木家屋敷庭園、及び保存樹木(樺3本、杉1本)	涌谷字黄金迫	町指定4号	1	涌谷町	平成12年6月28日	佐々木家住宅と共に、江戸時代中頃から不変であることがわかっており、古くからの屋敷地の様子を留める。屋敷内は広間・主屋を中心に庭園が造られ、要所に巨木を配している。宅地面積4,000.01㎡
	史跡	涌谷城跡	涌谷字下町	町指定5号	1	涌谷神社ほか	平成20年4月2日	中世から、涌谷氏の城館跡としての利用が知られ、天正19年(1591年)以降、近世を通して涌谷伊達氏(亙理氏)の居館(涌谷要害)となり近世城郭として機能した。現在、涌谷要害の旧本丸跡には、旧詰ノ門付近の石垣・石段や太鼓堂が近世からの遺構として存し、往時の名残りを留めながら公園整備され、広く親しまれている。約33,554㎡
	天然記念物	寛峯寺夫婦杉	寛岳字神楽岡	町指定1号	2本	宗教法人寛峯寺	昭和60年7月1日	寛岳のシンボルとしてあるもので、根元で1本になっているので俗に夫婦杉と言われている。高さ26.6m 幹回り4.55m。
	天然記念物	寛峯寺次郎杉	寛岳字神楽岡	町指定3号	1本	宗教法人寛峯寺	昭和60年7月1日	寛岳のシンボルとしてあるもので、次郎杉と呼ばれている。高さ23.7m 幹回り4.92m。
	天然記念物	寛峯寺三郎杉	寛岳字神楽岡	町指定4号	1本	宗教法人寛峯寺	昭和60年7月1日	寛岳のシンボルとしてあるもので、三郎杉と呼ばれている。高さ29.5m 幹回り5.15m。
	天然記念物	寛峯寺四郎杉	寛岳字神楽岡	町指定5号	1本	宗教法人寛峯寺	昭和60年7月1日	寛岳のシンボルとしてあるもので、四郎杉と呼ばれている。高さ28.5m 幹回り4.17m。
	天然記念物	黄金宮ご神木の杉	涌谷字黄金宮前	町指定6号	2本	黄金山神社	昭和60年7月1日	黄金山神社の神木としてあるもので、神社の聖域を守る。高さ28.4m 幹回り4.1m。
	天然記念物	小里関屋のさいかち	小里字不動	町指定7号	1本	個人	昭和60年7月1日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木で、高さ14.7m 幹回り4.46m。
	天然記念物	小里長畑のさいかち	小里字大道	町指定8号	1本	個人	昭和60年7月1日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木で、高さ8.7m 幹回り4.1m。
	天然記念物	小里柳沢のさいかち	小里字柳沢	町指定9号	1本	個人	昭和60年7月1日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木で、高さ23.5m 幹回り4.22m。
	天然記念物	小里柳沢のいちい	小里字柳沢	町指定10号	1本	個人	昭和60年7月1日	いちいの木としては、県内でも数少ない巨木で、高さ4.32m 幹回り1.5m。
	天然記念物	寛岳実相坊のいちい	寛岳字神楽岡	町指定11号	1本	個人	昭和60年7月1日	いちいの木としては、県内でも数少ない巨木で、高さ7.87m 幹回り1.1m。
	天然記念物	お新山さまのいちよう	字裏桜町	町指定12号	1本	新山速玉雄神社	昭和62年8月1日	新山速玉雄神社の歴史を語るいちようの巨木。小乳根を持つ。高さ21.63m 幹回り3.45m。
	天然記念物	城山のもみの木	涌谷字下町	町指定13号	1本	宗教法人涌谷神社	昭和62年8月1日	涌谷神社の社殿に至る石段左に位置し、町内のもみの木として最大級である。高さ20.32m 幹回り2.82m。
	天然記念物	亙理家のさるすべり	涌谷字下町	町指定14号	1本	個人	昭和62年8月1日	亙理家の屋敷内に成育し、この種としては涌谷地方では例のない大木である。高さ13.18m 幹回り1.57m。
	天然記念物	小里一本木のさいかち	小里字松崎	町指定15号	1本	個人	昭和62年8月1日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木である。高さ17.80m 幹回り4.08m。
	天然記念物	不動沢のけやき	吉住字西山	町指定17号	3本	涌谷町	昭和62年8月1日	吉住滝不動内にある。けやきの希少な大木で、若葉と紅葉が素晴らしく枝の張りも良い。樺 高さ29.45m 幹回り3.14m。 樺 高さ27.50m 幹回り2.51m。 樺 高さ27.50m 幹回り2.19m。
	天然記念物	花勝山のいちい	字花勝山1号	町指定18号	1本	個人	昭和62年8月1日	いちいの木の巨木で、傘型に手入れが行き届いている。高さ4.48m 幹回り4.92m。